

【別表A(5)－1(公益充実資金の明細)】

下表の水色欄(■)を記載ください。黄色欄(■)は自動計算されます。

1. 公益充実資金の前年度末明細

公益充実資金の前年度末値を確認します。

前年度末				
各資金の明細		実施時期(年度)※西暦	所要額	残高
検診医療部門什器備品購入資産	資産	2029/3/31	49,500,000 円	49,500,000 円
検診医療部門什器備品購入資産	資産	2029/3/31	1,750,420 円	1,750,420 円
看護専門学校建設積立資産	資産	2053/3/31	107,530,322 円	107,530,322 円
			円	円
			円	円

2. 公益充実資金の本年度末明細

公益充実資金の本年度末値を確認します。

当該事業年度開始日(西暦)	2025/4/1
---------------	----------

本年度末				
前期末残高	取崩額(合計値)	取崩額のうち資産取得分以外	積立額	今期末残高
158,780,742 円	0 円	0 円	20,051,984 円	178,832,726 円
各資金の明細	実施時期(年度)※西暦	所要額	取崩額(個別)	備考
検診医療部門什器備品購入資産	資産	2029/3/31	49,500,000 円	0 円
検診医療部門什器備品購入資産	資産	2029/3/31	2,625,630 円	0 円
看護専門学校建設積立資産	資産	2053/3/31	126,707,096 円	0 円
		円	円	
		円	円	

3. 公益充実資金の積立内訳、積立基準額の算定値(中期的収支均衡の50%超繰入れ時用)

中期的収支均衡の観点で、50%を超えて繰入れをする際に使用する公益充実資金の各種算定値を確認します。

各資金の明細	期首積立内訳(算定値)	残り必要額(算定値)	支出までの残存期間	活動毎積立基準額(算定値)	
	円	円	月	円	円
	円	円	月	円	/
	円	円	月	円	
	円	円	月	円	
	円	円	月	円	
	円	円	月	円	

4. 公益充実資金と公益目的事業費率、用途不特定財産上限との関連値

公益目的事業費率及び用途不特定財産上限との関係で、公益充実資金における必要な値を確認します。

各資金の明細	積立内訳(算定値、公益実施費用額に算入)	取崩内訳(公益実施費用額から控除)
	円	/
	円	
	円	
	円	
合計	0 円	

3. 公益充実資金の積立内訳、積立基準額の算定値(中期的収支均衡の50%超過入れ時用)

中期的収支均衡の観点で、50%を超えて繰入れをする際に使用する公益充実資金の各種算定値を確認します。

各資金の明細	期首積立内訳(算定値)	残り必要額(算定値)	支出までの残存期間	活動毎積立基準額(算定値)	
	円	円	月	円	円
	円	円	月	円	
	円	円	月	円	
	円	円	月	円	
	円	円	月	円	
	円	円	月	円	
	円	円	月	円	
	円	円	月	円	
	円	円	月	円	
	円	円	月	円	
	円	円	月	円	
	円	円	月	円	
	円	円	月	円	

4. 公益充実資金と公益目的事業費率、使途不特定財産上限との関連性

公益目的事業費率及び使途不特定財産上限との関係で、公益充実資金における必要な額を確認します。

各資金の明細	積立内訳(算定値、公益実施費用額に算入)	取崩内訳(公益実施費用額から控除)
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合計	0 円	0 円

【別表A(5)-2(公益充実資金の明細)】

資産	
特定の事業又は資産取得等の名称	検診医療部門什器備品購入資産
当該活動の内容	公益目的事業1における検診医療部門(臨床検査センター)で当該什器備品を使用し、地域の医療・保健・福祉の質の向上を図り、地域住民の健康増進と公衆衛生の向上に寄与する。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2023 年 4 月 ~ 2029 年 4 月 月数 (72 月)
所要額の算定方法	主に臨床検査センターで使用する什器備品の見積書に基づいた金額(税込1億1,440万円)を基礎として令和5年度から令和10年度にかけて資産取得予定で積み立てる。資産取得予定時期について、各々の什器備品が受注生産であり、発注から設計を経て納品までの期間が長く年度をまたぐ等、納期が定まらないこともあるため、資金を積立てたうえで計画的に執行していく。令和5年度から令和10年度までの6年間で1億1,440万円を積み立てる。令和5年度に1億1,440万円を積み立てる。

資産	
特定の事業又は資産取得等の名称	検診医療部門什器備品購入資産
当該活動の内容	公益目的事業1における検診医療部門(健診センター・保健医療センター)で当該什器備品を使用し、地域の医療・保健・福祉の質の向上を図り、地域住民の健康増進と公衆衛生の向上に寄与する。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2023 年 4 月 ~ 2029 年 4 月 月数 (72 月)
所要額の算定方法	主に健診センター・保健医療センターで使用する什器備品の見積書に基づいた金額(税込1億7504万3千円)を基礎として令和5年度から令和10年度にかけて資産取得予定で積み立てる。資産取得予定時期について、各々の什器備品が受注生産であり、発注から設計を経て納品までの期間が長く年度をまたぐ等、納期が定まらないこともあるため、資金を積立てたうえで計画的に執行していく。令和5年度から令和10年度までの6年間で公益部分(3%)の金額525万1290円を積み立てる。令和5年度から令和8年度に各年度87万5210円を積み立て、令和9年度に114万5560円を積み立て、令和10年度に60万4890円を積み立てる。

資産	
特定の事業又は資産取得等の名称	看護専門学校建設積立資産
当該活動の内容	公益目的事業2における松阪看護専門学校で当該校舎を使用し、地域での看護師不足を解消する取組みに寄与する。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2021 年 4 月 ~ 2053 年 4 月 月数 (384 月)
所要額の算定方法	現在の看護学校校舎は、平成12年竣工。建設会社の見積書に基づいた金額8億円(税込)を積み立てる。取得時に看護師等養成所施設整備事業にかかる補助金1億5,552万円を利用予定。令和3年度から令和34年度までの32年間で不足分6億4,448万円を積み立てる。令和3年度に5,000万円を積み立て、令和4年度～令和33年度までは、1,917万6,774円、令和34年度は1,917万6,780円を積み立てる。(令和4年度からは年間減価償却費相当額を積立額としている。)